


新議会議員紹介



町議会議員の欠員により、1月20日に行われた町議会議員補欠選挙の結果、原 幹雄さんが当選しました。

原 幹雄
総務常任委員

皆様の負託に応え、金融財政の知識・経験を活かして財政を見直し、企業進出などを進めて財政基盤を確立し、住民サービスの向上を図り、将来にわたって自立できる「豊かなまちづくり」に力を尽くしてまいります。

委員長・副委員長が替わりました

行財政改革特別委員会

- 委員長・・・関口 祝嘉
- 副委員長・・・島田 榮一

※12月12日に、正副委員長から辞任届が出されたため

「啓智会」の後援会費はどうなった？ 町民の疑問に答えよ

町田 むねひろ 議員



Q 平成19年6月定例会において、「社会福祉法人「啓智会」（以下「啓智会」という）の設立準備会後援会員から会費を集めたと聞いているが、事実か」と私の質問に対し、町長は「私は手を引いていたのでわからない」と答えたが、平成16年の年賀状では理事長貫井孝道と書いてある。従って町長は手をと

A 町長 事務局長の中敏嗣先生が「啓智会」の活動を再開したいということ、理事長貫井孝道と書いたに過ぎない。平成15年以降「啓智会」は活動していなかったし、活動については話を聞いていない。

Q 平成16年の年賀状に「活動を再開したい」と書いてあるが、嘘の年賀状を出したということか。

A 町長 土地が手に入らないということ、平成16年からは活動のしようがなかった。

Q 平成19年9月14日付毎日新聞の「啓智会」に関する記事「払った会費はどうなった？ 町民から疑問の声」について、町長はどう考えるか。

A 町長 告訴しようとしたが、「この内容では告訴にならない」と弁護士に止められた。

Q 私は「町長として最も大切なことは「町民に信頼され、尊敬されること」である」と考える。もし会費を集めていないのであれば、徹底的に調査して町民の疑問に答えるべきである。民生委員約50人中11人の証言だけでは調査不十分であり、町民の疑問に答えたことにはならない。

「啓智会」とは？
不登校児やひきこもり等を、医療と教育を両立させた施設の中で療育するとの考えで、設立準備会世話人代表関口政純、理事長貫井孝道、施設長田中敏嗣の三氏が平成14年6月から後援会員を募る活動を始めた。後援会員の会費にして30000円（法人1口50000円、個人1口20000円）の応募があったが、平成17年の年賀状で設立を断念した施設のこと。